

**平成28年度櫛引公民館関係事業  
＜事業一覧 目次＞**

**○櫛引公民館の目標と重点施策**

**1. 社会教育事業（社会教育課関係事業）**

- (1) 【成人式】……………p. 2
- (2) 【家庭教育推進事業】……………p. 3
  - ①人形劇公演
  - ②育児講座
- (3) 【青少年教育事業】……………p. 3
  - ①子ども会育成会連合会
  - ②高校生を持つ親の会
  - ③子ども会リーダー研修会
  - ④子ども育成合同研修会
- (4) 【青少年健全育成事業】……………p. 5
- (5) 【高校生ボランティアの推進】 p. 5
- (6) 【勤労青年活動支援事業】… p. 6
- (7) 【子どもの放課後対策事業】 p. 6
- (8) 【櫛引公民館管理運営事業】 p. 7
  - ①生涯学習講座の開設運営
  - ②自主講座の支援
- (9) 【生涯学習情報の提供】……………p. 8
- (10) 【視聴覚教育の利用促進】……………p. 8
  - ①視聴覚教材の貸出
  - ②子ども映写会
- (11) 【芸術文化振興事業】…………… p. 9
  - ①櫛引芸術文化協会
  - ②くしびき文化祭
- (12) 【文化財管理保存事業】……………p. 10

**2. 文化・文化財施設関係事業**

- (1) 【民俗芸能保存伝承事業】……………p. 10
- (2) 【文化施設管理運営事業】……………p. 11
  - ①王祇会館管理運営事業
  - ②丸岡城跡史跡公園管理運営事業

**3. 生涯学習振興事業**

- (1) 【生涯学習振興事業】……………p. 11
- (2) 【公民館類似施設支援事業】 p. 12
  - ①自治公民館連絡協議会
  - ②公民館類似施設整備事業
  - ③くしびき出前講座

## 櫛引公民館の目標と重点施策

(平成28年度鶴岡市教育委員会重点施策より)

### 【社会教育事業】及び【生涯学習事業】

#### ○多様な学習活動を支援する環境づくりの推進

#### ○櫛引公民館事業の充実

- ア 魅力ある講座等の実施と地域課題に対する学習の推進
- イ 家庭教育支援講座等の開催
- ウ 生涯学習団体等の活動支援（趣味サークル、青年サークル等）
- エ 芸術文化活動等の推進（文化祭、舞台・展示発表等）
- オ 自治公民館との連携、支援

### 【文化・文化財施設関係事業】

#### ○豊かな感性を高める文化の振興

- ア 黒川能の里王祇会館の管理及び運営、文化講座の開設、展示室や視聴覚室の活用
- イ 丸岡城跡史跡公園の適正な保全管理の推進、ガイダンス施設（市指定文化財日向家住宅）の一般公開の推進

## 1. 社会教育事業

### (1) 【成人式】

事業名	鶴岡市櫛引地域成人式
目的	人生の節目を迎え大人としての自覚を新たにした新成人を祝い励ますため成人式を開催する。自主企画の実行委員会方式による仲間づくりを進める。
内容	日時：平成27年8月14日（金）13:30より 対象：平成6年4月2日～平成7年4月1日生れの、櫛引中学校卒業者及び櫛引地域在住の者 実行委員会：事前5回、事後1回 当日：オリエンテーション、式典、自主企画（記念写真撮影、祝賀会、実行委員製作映像の上映） 記念品：新成人自主制作DVD（ケーブルテレビ制作協力）「くしびきのよるこ」
実績	対象者99人 式典参加者74人（参加率74.7%）
評価・反省	5月広報で実行委員を募集した他、前年度実行委員からの推薦により実行委員12名が集まった。成人式自主企画の発案・運営により、縦横のつながりの強化、青年層の育成にもつなげている。 式典はおごそかな雰囲気で行われ、その後の自主企画は恩師を交え昔を懐かしみながら懇談していた。
28年度の計画	日時：平成28年8月14日（日）13:30より 対象：平成7年4月2日～平成8年4月1日生れの、櫛引中学校卒業者及び櫛引地域在住の者95名（櫛中卒業者90名 転入者5名）

## (2)【家庭教育推進事業】

事業名	<b>①人形劇公演</b>
目的	子ども達への読み聞かせの一環として絵本作品を人形劇で上演することにより、幼児期からの読書力の向上を目指すとともに、図書館利用の周知をはかる。
内容	平成 11 年度から人形劇MあんどB（千葉県船橋市）に依頼している。
実績	日時：10月22日(木)・23日(金) 場所：櫛引公民館研修室 出演：人形劇MあんどB 対象：櫛引地域の保育園児、鶴岡市内の未就園児と保護者、関係機関職員等 参加人数：267人
評価・反省	保育園と子育て支援センターを通して未就園児に呼びかけを行ったが、後者の参加が少なかったため、もっと積極的な呼びかけが必要である。
28年度の計画	人形劇については、公民館直轄事業として11月18日(金)・19日(土)に実施。

事業名	<b>②育児講座</b>
目的	親同士の交流を深めながら大事な幼児期に楽しく子育てができるよう支援する。
内容	子育て支援センターと共催で講話を実施した。
実績	「寝る子は育つ、泣かせない子育て」～まるまる育児・まるまる抱っこ～ 講師 なんば助産院 助産師 難波 ハツ子氏 日時：2月22日(月) 場所：櫛引すこやかセンター プレイルーム 参加者数：10組(乳幼児とその保護者合計20名)
評価・反省	家庭教育事業に対する必要性や認識を高めるため、人形劇公演終了後に行ったアンケートに主旨を記載した。また、そのアンケートによってニーズを把握して今回の事業につなげた。後半は講師と保護者が個別に相談する時間を設けたため、参加者は多くなかったが、事業内容からみると適当な人数であった。
28年度の計画	育児講座については引き続き昨年と同時期に開催を予定している。

## (3)【青少年教育事業】

事業名	<b>①子ども会育成会連合会</b>
目的	子ども育成の共通課題の解決と育成活動の向上を図り、健全な育成を図る。
内容	実技研修会、リーダー研修会の開催 子ども会安全共済会への加入手続き
実績	子ども育成合同研修会 7月4日(土) 主管：PTA連合会 実技研修会 12/12(土) 親子74名参加(子ども45名・保護者29名) 「みんなであそぼう！だがしや楽校」 講師：特定非営利法人 公益のふるさと創り鶴岡 結城ななせ氏 ほか12名 ボランティアスタッフ：高校生ボランティアサークル「NO-SIDE」 3名 子ども会安全共済会は全21地区が加入している 平成27年度事故1件 ※運動会練習から帰宅時自転車運転中の事故により歯損。2回通院。

評価・反省	<p>独自事業である実技研修会では多くの親子参加があり、子どもだけでなく指導者の研修にもつながった。</p> <p>運営委員会の際に、運動会練習やスキー教室等、子ども会活動中の事故防止の徹底と報告を呼びかけた。</p>
28年度の計画	<p>引き続き子ども育成会行事における事故防止の徹底を呼びかける。</p> <p>各地区の子ども育成会活動に資するため、12/11または18（日）実技研修会を開催。</p> <p>リーダー研修会での児童の指導へ育成会の積極的な参加を呼び掛ける。</p>

事業名	<b>②高校生を持つ親の会</b>
目的	親としての資質向上と会員相互の連携強化、地域・家庭教育における教育の充実、各地区親の会と高校生の会の組織と活動を確立、高校生の社会参加（ボランティアサークル「NO-SIDE」への加入）の促進
内容	会員研修会の開催
実績	<p>子ども育成合同研修会 7月4日(土) 主管：PTA 連合会</p> <p>会員研修会 10/24(土) 15名参加（懇親会10名参加）</p> <p>講演「現代結婚事情と親子で話す人生設計」～あなたの子どものしあわせのために～</p> <p>講師：ハローマリッジ倶楽部 トミー伊藤氏</p>
評価・反省	<p>会員研修会では、進学や就職よりさらに大きい意味での人生設計を考え、将来よりよいパートナーを得られるよう親としてあるべき姿、子供にどう伝えていくのかを学んだ。親子だけでなく夫婦や会社でのコミュニケーションの取り方にも通じるものがあり、参加者が普段の会話を考える一助となった。</p> <p>会への理解不足による未加入世帯、地区が出てきている。小中学生とは違う高校生の保護者が抱える課題を考える、また、高校が違くと薄れる地域の高校生保護者のつながりを保つ場としての必要性を訴えていく。</p>
28年度の計画	18歳から選挙権を得たことを受け、選挙についての会員研修会を10～11月実施する。

事業名	<b>③子ども会リーダー研修会</b>
目的	子ども会のリーダー養成と子ども会活動の活性化を図り、仲間づくりを目指す
内容	<p>新6年生全員が対象</p> <p>1. アイスブレイキング 2. 金峰登山 3. 危険予知トレーニング 4. 天体観測</p> <p>5. うどん打ち体験 6. 研修（先輩の話、子ども会活動の進め方）7. 仲間づくりゲーム</p>
実績	<p>対象児童数57人 参加者30人（参加率52.6%）</p> <p>日時 平成28年3月24日（木）～25日（金）</p> <p>会場 金峰少年自然の家</p>
評価・反省	最高学年になるにあたり、協調性やリーダーシップの育成を行う。金峰少年自然の家の特長を活かしながらの事業計画を練る。
28年度の計画	平成29年3月22日（水）～23日（木）に1泊2日で予定している。対象は52人。各地区子ども会育成会等の協力を得て実施する。

事業名	<b>④子ども育成合同研修会</b>
目的	子どもたちの健全育成のあり方を研修する
内容	子どもの健全育成に関わる3団体（子ども会育成会連合会・PTA連合会・高校生を持つ親の会）が合同で開催する研修会。この3団体で主管を持ち回る。

実績	期日 7月4日(土) 14:30～ 会場 櫛引公民館 ホール 講演 「トップアスリートマネージャーと考える子どもへのサポート」 講師 株式会社IMPRINT 田中由起氏 参加者数 約100名
評価・反省	櫛引はスポーツ少年団が盛んな地域である。そのスポーツを通して講演会を開催するにあたり、トップアスリートを支えるマネージャーを講師にお招きした。トップレベルの選手を支えることで見えてきた課題や解決方法について講話を頂戴した。また、スポーツマネジメントといった職種についても講話していただき、職種理解の幅を広げることができた。
28年度の実績 ※実施済	期日 6月11日(土) 講師 NPO法人国際自然大学校 理事・アドバイザー 桜井 義維英氏 参加者 80名 子ども時代に様々なことを経験することの重要性について、講師が実際に接したことや参加者の身近な例を用い、理解しやすい講演内容であった。

#### (4)【青少年健全育成事業】

事業名	<b>青少年育成推進事業</b>
目的	青少年の健全育成のため青少年育成推進員を委嘱する。
内容	各小学校区単位で1名を委嘱し、各種研修会への参加及び健全育成に関する事業を推進する。報酬：16,000円/年 活動謝金：1,500円/回
実績	庄内地方青少年育成推進員連絡協議会総会、各種研修会、巡回指導への参加。 4月28日 鶴岡市青少年育成推進員連絡協議会総会(にこふる) 6月22日 櫛引地域巡回指導 7月下旬～8月下旬 いじめ・非行防止標語の取り組み 9月3日 櫛引地域青少年育成推進員会議(いじめ防止標語予備審査) 9月24日 櫛引地域巡回指導 11月19日 市長・教育長と青少年育成推進員と語る会(第3コミセン)
評価・反省	鶴岡市全体の取り組みだけではなく、櫛引地域独自の活動として巡回指導を行った。また、学校訪問や学校の協力・連携をいただきながら「いじめ非行防止」の標語募集を行い、有意義な活動を行った。
27年度の計画	各小中学校の協力・連携を通して、青少年の非行防止、防犯対策を進めていく。

#### (5)【高校生ボランティアの推進】

事業名	<b>高校生ボランティア活動の推進</b>
目的	地域内のボランティア活動に関心のある高校生の活動を支援する
内容	月1回程度の定例会で事業内容を検討し対応。サルビア植栽、保育園夕涼み会への協力、桃寿荘入居者への年賀状手渡し、養護学校との居住地交流活動、青年サークルくしびギン!のイベントへの協力を行った。
実績	会員数5人 内訳：中央高校(3年生1人)、天真学園高校(3年生1人)羽黒高校(2年生3人) 主な活動実績

	サルビア植栽（下山添地内国道 112 号沿い）	6 月 13 日	4 名参加
	東部・南部保育園夕涼み会へ協力	7 月 18 日	5 名参加
	西部保育園夕涼み会へ協力	8 月 8 日	4 名参加
	YY ボランティアセミナー（金峰少年自然の家）	8 月 7, 8 日	2 名参加
	YY ボランティアサークル交流会（金峰少年自然の家）	8 月 8 日	3 名参加
	桃寿荘入居者への暑中見舞い書き（櫛引公民館）	8 月 10 日	3 名参加
	ボランティア交流会（にこふる）	9 月 19 日	3 名参加
	地域づくり団体交流会（東北公文大）	11 月 28 日	1 名参加
	YY ボランティアの集い（山形県青年の家）	12 月 12, 13 日	1 名参加
	クリスマス映写会（櫛引公民館）	12 月 23 日	4 名参加
	たらのきだ이스キー場イベント	1 月 16 日	3 名参加
	櫛引中学校訪問 PR 活動	3 月 15 日	3 名参加
評価・反省	ボランティア活動を通し、社会性の向上や協調性、仲間とのつながりを深めている。高校単位でのボランティアサークルが増えてきており、地域単位のボランティアサークルの活動が縮小している傾向にあるが、他団体との交流を深め一緒に活動していく。		
28 年度の計画	月 1 回程度の定例会を開催し、自分たちに出来るボランティアについて考え各種活動に参加する。他サークルとの交流を深め、仲間づくりを進めていく。		

#### (6)【勤労青年活動支援事業】

事業名	<b>勤労青年地域活動支援</b>		
目的	青年サークル「くしビギン！」の活動への支援をとおり、青年層の地域づくりへの参画を推進し、次世代の地域リーダーを育成する。		
内容	国道 112 号サルビア植栽への参加 クリスマス映写会・サントイイベント スキー場イベント 定例会の開催		
実績	サルビア植栽 6/13(土) 1 名 クリスマス映写会 12/23(水) 4 名 サントイイベント 12/23(水) 5 名 たらのきだ이스キー場ファン感謝デーでのイベント 1/16(土) 2 名		
評価・反省	クリスマス映写会・サントイイベントにおいてアンケート調査を行ったところ、好評であった。一方でメンバーの生活実態に合わせた活動の展開と次世代の主力メンバーの確保が課題。 次世代の新規会員の拡充につながることを意識しながら、高校生ボランティア NO-SIDE にイベントへの協力を依頼し交流を図った。		
28 年度の計画	リピーターも多い各種子ども向けイベントや地域の活性化につながるイベントを継続していく。		

#### (7)【子どもの放課後対策事業】

事業名	<b>放課後子ども教室</b>		
目的	子どもたちに、放課後の安心・安全な活動拠点を提供し、遊び、学習、交流活動を行うことで、地域の教育力と子どもの社会力の向上を目指す。		
内容	放課後の児童の安全・安心な居場所として下山添地区公民館を「西小放課後子ども教室」として開設する。運営の費用は、国・県・市が 1/3 ずつ負担。 施設及び安全管理のため教育活動推進員 3 名と教育活動サポーター 1 名を配置し、常時 1~2 名で安全管理を図っている。		

実績	登録児童数 34 人、開催日数 181 日（12 月～3 月は休校）、延べ参加人数 953 人、1 日あたりの平均参加数 5.3 人 参加児童に放課後の居場所と活動（スポーツや学習、工作）を提供した。 下山添農園を利用して農業体験を行うなど、体験活動にも取り組んだ。
評価・反省	「放課後子ども教室だより」を 3 回発行し、西小の児童保護者に子ども教室の開催状況をお知らせすることができた。 教育活動推進員をさらに確保して、手芸や昔ながらの遊びなども取り入れたい。
28 年度の計画	国の放課後子ども総合プランを踏まえ、鶴岡市の方針をもとに、保護者や地域の方々、西小学校により構成される実行委員会で実施内容を検討する。

## (2)【櫛引公民館管理運営事業】

事業名	<b>①生涯学習講座の開設運営</b>
目的	市民の学習を推進する社会教育事業の展開
内容	「趣味の講座」の開設（生涯学習推進員が運営を担当） ≪前期≫ 新規 3 講座、前年度からの継続 3 講座 俳句、楽書、つるあみ、食事術、クラフトテープ、黒川能 ≪後期≫ 新規 2 講座、前年度からの継続 4 講座、支援 2 講座 楽書、上生菓子、写経、精進料理、アイシングクッキー、カクテル 俳句（支援）、つるあみ（支援） ※支援講座 初回講座のみ推進員が運営補助。2 回目以降は受講生のみで運営。ただし講師謝金は市で負担。
実績	≪前期≫ 6 月 30 日～8 月 21 日、6 講座 11 回開催 受講生 67 名（延べ受講生数 103 名） ≪後期≫ 9 月 14 日～11 月 11 日 6 講座、支援 2 講座 15 回開催 受講生 95 名（延べ受講生数 161 名） より参加しやすいように、1 講座あたりの回数を少なくして講座の種類を増やし、前期・後期と分けて実施した。 文化祭には、俳句、楽書、つるあみ、クラフトテープ、写経の受講生から多くの作品が出展された。また、その他の講座についても紹介と PR を兼ねて、講座の様子をおさめた写真を展示した。
評価・反省	1 回だけの講座が多かったため延べ人数が減少したが、中央公民館やコミセン等にもチラシを配置したことで地域外からの参加も見られた。 参加者が 40 代以下のみの講座や親子で一緒に参加する講座もあり、今後とも若い人が興味を持ち、参加しやすい講座を検討していきたい。
28 年度の計画	前期講座(6/29～8/26) 革小物、ほとりあ自然散策、写経、多肉植物の寄せ植え、カクテルづくり、消しゴムはんこ、クラフトテープ ホームページやフェイスブックを活用した事業の発信を行っていきたい。

事業名	<b>②自主講座の支援</b>
目的	市民の学習を推進する社会教育事業の展開
内容	「自主講座」への支援 詩吟、書道、切り絵、絵手紙、カラオケ愛好会、楽焼、ちぎり絵、フリースタイル（よさこい）、フォークダンス、庄内刺し子、昔語り、読み聞かせ
実績	櫛引公民館等を会場とするサークル活動の紹介（募集チラシの作成） 文化祭への参加
評価・反省	展示・公演発表部門ともに、多くの講座が文化祭に参加した。 文化祭の展示室の一角にサークル活動の紹介も掲示し、宣伝を図った。

	募集チラシをきっかけに新規申込があり、サークル会員増の一助となった。
28年度の計画	趣味の講座から支援講座を経て自主サークルへの移行については、その熟度と会員の固定具合に併せ、各団体の長と相談のうえ段階的に道筋を作っていく。 自主講座は文化祭への出展、参加の中心であることから、活性化が図られるように、今後とも協力を続ける。

### (9)【生涯学習情報の提供】

事業名	<b>①生涯学習ひろば（KCT）</b>
目的	鶴岡市ケーブルテレビジョン（KCT）番組を利用して、櫛引・朝日地域を主とした学習情報等の提供を行う。また、広く市民の学習活動、芸術文化活動、サークル、講座等の紹介を通して市民の生涯学習意欲を高める。
内容	鶴岡市ケーブルテレビジョン番組「生涯学習ひろば」制作 （社会教育指導員が取材・番組制作を担当） 放送日：第2・4木曜日（再放送：土～火曜日） 櫛引・朝日地域、市内他地域の生涯学習情報を取材し放送する。
実績	自主製作番組 20本 （地域活動1、講座講演6、社会体育3、青少年3、伝統文化2、芸術文化5） （櫛引11、朝日3、鶴岡5、櫛引・朝日1）
評価・反省	生涯学習講座や文化活動、歴史を取材・紹介することで、当事者の励みにするとともに広く視聴者への啓発にも役立っている。
28年度の計画	櫛引、朝日を中心としながらも、全市を視野にいれながら、地域・分野のバランスが取れた取材制作を行う。放送開始から20年を経過しており、生涯学習の普及啓発と番組の今後のあり方について検討する。

### (10)【視聴覚教材の利用促進】

事業名	<b>①視聴覚教材の貸出</b>
目的	市民学習を促進するため視聴覚教材を貸し出しする。
内容	視聴覚教材の貸し出し(随時受付) 学校、自治公民館、子ども会育成会、地区出前講座等社会教育の場における活用
実績	借用本数 8件 16本
評価・反省	くしびき出前講座や子ども育成会での利用が多く見られた。
28年度の計画	引き続き、視聴覚教材の貸し出しを行う。

事業名	<b>②子ども映写会</b>
目的	子ども達が様々なライブラリー教材を鑑賞することで感性をみがき、休日がより充実したものになるように映写会を開催する。
内容	夏休みとクリスマス時期に開催
実績	夏休み子ども映写会（親子体験事業） 8月7日（金） 59名参加 上映作品「ともだちくるかな」「おぼけのてんぷら」「ねずみのなる木」 「3びきやぎのがらがらどん」 クリスマス映写会（くしびキン!）12月23日（水）児童・保護者約 92名参加 上映作品「ミッキーマウスのメリークリスマス」「にゃーご」



評価・反省	両映写会とも 16 ミリ映写機・DVD を使って上映した。クリスマス映写会は青年サークル「くしびギン！」が中心となり企画運営をした。どちらも、来場者の反応は良好であった。 クリスマス映写会には NO-SIDE の参加もあり、異年齢層ボランティアサークルの交流の場ともなっている。
28 年度の計画	クリスマス映写会は 12 月 23 日で固定であるが、夏休み映写会は平日に櫛引公民館で開催している。東小・南小から参加する場合、家族の送迎が必要となることから、日程と事業のあり方を再考する必要がある。

( 1 1 ) 【芸術文化振興事業】

事業名	①櫛引芸術文化協会
目的	櫛引地域の芸術文化の振興を図る。
内容	加盟団体 19 団体 6 個人（うち民俗芸能団体 7） 総会員数 325 名 総会、役員会 くしびき文化祭の共催（くしびき文化祭実行委員会主管） 新春のつどいの開催 市芸文協主催会議出席
実績	総会 1 回 役員会 2 回 新春のつどい 1 月 9 日（土） 93 名参加
評価・反省	今年も新規に 1 団体の加盟があった。 新春のつどいについては、会員相互の呼びかけもあり公演部門の団体のほかに、展示部門や民俗芸能団体からの参加者も増えた。
28 年度の計画	更なる会員の獲得を図る。 6 地域の芸文協がそれぞれ市芸文協の加盟団体となり、一体化したことで、更なる地域間の交流をはかり活性化につなげる。

事業名	②くしびき文化祭
目的	文化活動の成果発表、相互鑑賞と交流により櫛引地域の生涯学習活動の発展に資する。
内容	展示部門 書道、絵画、写真、生け花等 公演発表研修部門 文化財めぐり・まなびいステージ 参加事業 櫛引地域内小中学校文化祭、読書週間
実績	展示部門 10 月 30 日（金）～11 月 3 日（火） 会 場：櫛引公民館 出展者数：延べ 477 人 出品数：647 点 鑑賞者数：延べ 1,050 人 ※特別展 佐久間貞治氏 作品展 公演発表研修部門 「文化財めぐり」 10 月 25 日（日） 酒田市松山地域の文化財 参加者 15 名参加 「まなびいステージ」 11 月 15 日（日） 会 場 櫛引公民館 参加者 15 団体 161 人 鑑賞者数 290 人
評価・反省	展示部門について鑑賞日に平日をいれたことで、保育園・学校単位での鑑賞ができた。 まなびいステージについて、出演回数等を調整することでスムーズに進行することができた。
28 年度の計画	展示部門 11 月 1 日（火）～3 日（木） まなびいステージ 11 月 13 日（日）

	実行委員会形式初年度である昨年の反省を踏まえ、準備・企画の段階から多くの方の参画を得て、事業内容の充実と参画意識の高揚を図りたい。
--	---

(12) 【文化財管理保存事業】

事業名	<b>イバラトミヨ生息地保護</b>
目的	かつて、この池の付近は上海清水 <sup>じょがいしみず</sup> などの名水が湧き出しており、その湧水を利用して赤川鮭生産組合が孵化場を建設していた。しかし、昭和48年に赤川頭首工の幹線水路が水源近くに深く掘り込まれ作られたため、湧出水量が減少してしまったことから、イバラトミヨ成育地域保存のため、平成6年7月より井戸水をポンプアップ（揚水量150ℓ/分程度）により池に注水している。
内容	池及びポンプ井戸の土地借上げ ポンプ電気料の支出 板井川イバラトミヨを守る会との調整
評価・反省	保護池の巡回を行いながら、イバラトミヨの生息を確認した。
28年度の計画	板井川イバラトミヨを守る会との連絡調整をしながら、地域資源として活かしていく。

2. 文化・文化財施設関係事業

(1) 【民俗芸能保存伝承事業】

事業名	<b>黒川能保存伝承支援</b>
目的	古典文化の象徴として郷土に伝わる黒川能の発展を図るとともに、その保存継承に寄与する。
内容	能楽後継者育成に対する支援 能楽開催に対する諸経費の支援 能楽をとおした地域活性化 伝統文化保存の機運醸成
実績	事業実施主体 公益財団法人黒川能保存会 名称 第8回黒川能保存伝承研究会 期日 11月1日（日） 場所 王祇会館 内容 来場者に試食（王祇祭の切り和え、凍み豆腐創作料理） 特別講演 「食から始まる地域づくり」 講師：奥田政行 氏（アルケッチャーノ オーナーシェフ） 来場者 約100名
評価・反省	平成20年度から黒川能に所縁のある識見者を招いて講演会を実施している。今年度は王祇祭とは切り離すことができない凍み豆腐、切り和え等の食文化を切り口に、行事食が持つ能との深いつながり、地域の食文化への理解を深める学習機会となった。テーマである黒川能と食文化については、来場者にも好評であり、今後も支援を継続していきたい。
28年度の計画	食文化を通じた地域への愛着、再発見は全市的にも多くの地域で取り上げられている学習テーマであり、単発イベントで終わらせないよう、第9回も引き続き黒川能と食文化をテーマにすることを黒川能保存会と協議済みである。

## (2) 【文化施設管理運営事業】

事業名	<b>①王祇会館管理運営事業</b>
目的	国の重要無形民俗文化財に指定されている黒川能を中心とした、黒川地域の活性化を図る拠点施設として、貴重な文化資源である民俗芸能等の保存伝承を図る。
内容	黒川能の里 王祇会館の管理運営(指定管理者：公益財団法人黒川能保存会) 黒川能等民俗芸能文化資料展示と文化活動の推進 観光、体験交流施設案内所としての機能
実績	利用者数(貸館利用と鑑賞入館者) (28年2月末現在) 462件、14,096人、(H26)484件、17,008人
評価・反省	黒川能に関連する文化財資料を展示公開し、来館者に様々な情報提供することで、観光・交流施設として、文化・観光の振興に寄与している。また後継者の育成等に努めることで、伝統文化保存活動の一層の活性化・推進が図られている。
28年度の計画	引き続き、伝統文化の発信行い地域活性化施設として適切な管理運営に努めたい。

事業名	<b>丸岡城跡史跡公園管理運営事業</b>
目的	県指定史跡の丸岡城跡を適正に維持管理及び運営するとともに、市指定文化財の日向家住宅を地域の歴史と伝統文化の継承及び地域活性化の役割を担うガイダンス施設として復元整備を行う。
内容	史跡公園の維持管理及びガイダンス施設の整備
実績	丸岡城跡史跡公園は、荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会が受託者となり適切に管理されている。 史跡公園内に市指定文化財である日向家住宅をガイダンス施設として復元整備が行われ、28年4月より荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会を史跡公園の指定管理者として指定するための準備行為を行った。
評価・反省	荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会と丸岡地区住民の熱意により、史跡公園は美しく管理されている。また、ガイダンス施設を含む史跡公園の指定管理者として指定された。
28年度の計画	28年7月のガイダンス施設開館へ向けての展示等の企画、パネル製作などを行う。 史跡公園の指定管理初年度であり、円滑な管理運営が行われるよう指導助言を行う。

## 3. 生涯学習振興事業

### (1)【生涯学習振興事業】

事業名	<b>生涯学習推進員</b>
目的	社会教育・生涯学習の推進
内容	生涯学習推進員11名(男性5名 女性6名) 「趣味の講座」の運営 生涯学習推進員会議 文化祭展示協力、各種研修会への参加、生涯学習事業のサポート等

実績	活動回数 121回（趣味の講座の運営 55回、生涯学習推進員会議年6回ほか） 鶴岡市生涯学習推進員・生涯学習関係職員等研修会（4月27日、11月17日） くしびき文化祭への展示協力（10月28日）
評価・反省	講座の運営、各種研修会への積極的な参加により、推進員の資質向上へつながった。
28年度の計画	講座の運営だけでなく、講師との連絡、調整も含めて推進員が自主的に企画立案できるようにサポートしていく。 資質向上のため、櫛引独自の推進員研修を実施する。

## （2）【公民館類似施設支援事業】

事業名	<b>①櫛引自治公民館連絡協議会</b>
目的	各地区自治公民館の相互の連絡を密にし、運営及び事業について研究し、その向上を図ることに努め、もって社会教育の振興に寄与する
内容	総会、館長・主事等の研修の支援、視察研修及び年度末研修の実施 社会教育の推進、くしびき文化祭、体育協会・スポーツクラブ主催事業等の後援
実績	総会 4月18日（土）、役員会 3回 視察研修は東北地区公民館大会（温海ふれあいセンターほか）に参加 10月1日（木）～2日（金）20名参加 年度末研修 3月5日（土） 39名参加、事例発表；東南地区・桂荒俣地区、先進事例DVD視聴、情報交換ほか
評価・反省	東北地区公民館大会参加や年度末研修において、先進地事例の取り組みを研修するとともに、自治公民館事例発表による共通する課題等について研修や情報交換を実施し、自治公民館活動の活性化を推進した。 年度末研修で実施している事例発表は、21全地区を一巡したため、今後の研修の持ち方について役員会で検討を行った。
28年度の計画	28年度の視察研修は県内研修（村山地方）を予定している。また、年度末研修の内容については、各地区からの意見集約を基に検討した結果、各地区事例発表を一旦休み、課題・テーマを設定し講演等を試行的に行う。

事業名	<b>②公民館類似施設整備事業</b>
目的	生涯学習の拠点である自治公民館の施設等の整備により公民館事業の推進を図る。
内容	自治公民館の運営に対しての補助金と施設改修や設備整備に対する補助金の交付を行う。
実績	運営補助（世帯数割により補助金を交付） 施設整備補助（施設改修補助：下山添公民館屋根改修、設備補助：宝谷地区、黒川中地区）
評価・反省	それぞれの地区の改修実情に合わせた施設改修及び設備整備事業補助を行うことができた。
28年度の計画	施設整備補助の新制度の周知を図るとともに、地区からの要望と当該地区公民館施設の様態等を十分に把握し、予算額の範囲で整備を行う。

事業名	<b>③くしびき出前講座</b>
目的	住民が充実した生活を送るために、各種の講座を出前し、学習や情報発信、意見交換を行う。また、住民の声を把握し、政策マーケティングにも繋げていく。
内容	鶴岡市が行っている仕事や事業、住民の方々の聞きたい内容を櫛引庁舎の職員等が地区に出向いて説明し、意見交換等を行う事業（全 19 講座）。また県や団体が行っている出前講座についても情報提供し、学習機会を広げている。
実績	延べ 15 回開催、352 名参加（総務企画課 6 市民福祉課 4 図書館 3 櫛引公民館 2） 交通安全、応急手当、防犯、防災、ゴミ、健康、昔話、移動写真会
評価・反省	各種情報提供や意見交換ができ、生活に役立てることができた。また、地域の方々と情報交換もでき、業務の参考にすることができた。
28 年度の計画	担当課へ新メニューの検討を含め照会を行う。 庄内総合支庁の出前講座や社会福祉協議会のふれあい福祉講座等、各団体が行っている出前講座の情報も収集し、情報提供を行う。